



横浜市立万騎が原中学校 学校だより

桐の花

令和4年

3月24日

校長 中村 雅一

横浜市旭区万騎が原 31 TEL 045-391-5514 FAX 045-391-5537

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/makigahara/index.cfm>

「目標の先の目的」

校長 中村 雅一

インターネット上などにフェイク情報があふれ、何が事実か真実かを見極めることが難しい時代になりました。身近な人間関係において、自分の気に入らない人がいたり、個人的な思惑から、その人の事実と反することをあたかも真実かのように言いふらして、その人をおとしめようとする行為は昔からありました。戦争もまた、インターネット空間でフェイクと言われるニセの情報やニセの映像が一部で平然と流され、情報戦という形で繰り返されます。ロシアによるウクライナ侵攻でも、ネット上には偽情報や不正確な情報が意図的に流され、さらには権力による情報統制を行い、どちらも、国内世論を操作するためだけでなく、自国にとって都合の良い「物の見方」を国際的なものにしてしています。

事実でないことを事実と認識してしまうケースがどのくらいあるのかは分かりませんが、正確な情報と的確な見識は、私たちにとって、水や空気と同じくらい大切な存在になっています。情報を受け身で鵜呑みにしてしまうのではなく、私たち情報の「受け手」が能動的にしっかり見きわめること、「子どもたちに情報リテラシーを」という前に、私たち大人の意識転換がまずは必要なのかもしれません。

そして、命がけでウクライナで戦っている人たちや、ロシア国内で投獄のリスクを冒してでも「反戦」を叫んでいる人たちの「反抗」は、単なる愛国心からではなく、それ以上の気高い大切なものを守るために感じます。それがまた、私たち日本の裏側で起きているこのウクライナ危機を、対岸の火事とは思えない危機感や強い関心へとつなげているような気がします。

さて、先日の3月9日、万騎が原中学校「第61回 卒業証書授与式」を挙行了しました。今年もコロナ禍の式で、地域の皆様や小学校の先生方をお呼びできませんでしたが、278名の卒業生が立派に巣立っていきました。ここに、「学校長式辞」をご紹介します。地域の皆さま、小学校の先生方のこれまでの卒業生へのご支援やご指導に深く感謝いたします。お礼申し上げます。ありがとうございました。

来年度も万騎が原中生たちへの引き続きのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

(令和4年 3月24日)

「3年生の皆さん、卒業 おめでとうございます。(中略)

さて、卒業生のみなさん、万騎中の3年間はどうか。

皆さんが2年生への進級を目前に控えたあの2年前の3月、突然、全国の学校が一斉休業になりました。

2年生に進級してからは、体育祭や桐花祭も中止、校外活動も中止で、ほとんど行事のない、部活動も十分な活動ができない一年間を過ごしましたね。3年生になってからは、大きな行事は幸いすべて実施することができました。

特に、桐花祭の合唱では、わずか2週間程しかない準備・練習期間、その上に、難しい曲に挑戦、、、コンクール形式はとりませんでした。とにかく「合唱をやること」、それによって後輩たちに万騎中「桐花祭の伝統」を伝えていくことが、3年生に与えられた重要な使命となりました。決して、勝ち負けを競ったわけではなかったのに、練習が始まると、翌日のステージ発表をする代表2クラスを目指して、自然と自分たちで目標設定をしている所が「さすが万騎中生！」と感じました。また、真剣に全力で取り組む中で、クラスの取組をみんなで楽しみ、仲間への励ましや、仲間への感謝の気持ちを忘れない姿勢も立派でした。まさに、最上級生として後輩たちへの良き手本となって、万騎中の伝統に、さらに「良き1ページ」を書き加えてくれました。

そんな君たちに、「目標の先の目的」の話を紹介します。

「3人のレンガ積み職人」と題するイソップ童話からのお話です。

世界中を回っている旅人が、ある町はずれの一本道を歩いていると、一人の男が道の脇で、難しそうな顔をしてレンガを積んでいました。旅人は、その男のそばに立ち止まって、たずねます。

「ここでいったい何をしているのですか？」すると、男は……………。

「見ればわかるだろう。親方の命令で、レンガを積んでいるんだよ。

毎日、暑い日も寒い日も、一日中レンガ積みだ。まったく ついていない。」

……………旅人は、歩き続け、しばらく行くと、一生懸命レンガを積んでいる別の男に出会います。

その男は、先ほどの男ほど、つらそうには見えませんでした。そこで、また旅人が男にたずねると……………。

「俺はね、ここで大きな壁を作っているんだよ。これが俺の仕事でね。」
旅人は「それは大変ですね」と、いたわりの言葉をかけました。すると意外な言葉が返ってきました。
「なんてことないよ。この仕事はお金が良いからやってるのさ。これで俺は家族を養ってるんだ。」
旅人は、さらに歩き続け、もう少し行くと、別の男が生き生きと楽しそうにレンガを積んでいました。旅人は興味深く、たずねました。すると、男は目を輝かせて、こう答えました。
「ああ、俺たちのことかい？俺たちは歴史に残る偉大な大聖堂（教会）をつくっているんだ。」
旅人は「それは大変ですね」と、いたわりの言葉をかけると、男は、楽しそうに、こう返してきました。
「とんでもない。ここで多くの人が祝福を受け、悲しみを払うんだ！素晴らしいだろう！」
旅人は、その男にお礼の言葉を残して、元気いっぱい歩き始めました。……と、話はここまでです。
この三人の職人ですが、三人とも行っている作業は同じで、レンガを一つ一つ積み上げて、大聖堂（教会）を造るという「目標」も同じです。しかし、三人目の職人は、レンガを積み上げて大聖堂を造るという「目標」の先に、人々を幸せにする、人々の喜ぶ顔が見たいという「目的」や「願い」があります。
「目標の先にある目的」や「考え方」が異なれば、生き方も変わっていく、幸せ感もこんなにも違う、ということが分かります。そして、この「何のために」という「目的」は、突き詰めていくと、……、誰もが「良い人生を送りたいため」、「幸せになりたい」という目的にたどり着くのだと思います。
今、皆さんが、自分がしている目の前の勉強でも、スポーツ、音楽でも、友人関係でも、将来の仕事においても、それが私の幸せや、私たちの幸せとどうつながっているのか考え、その幸せを達成するための「手段」は、適切かどうか、考えていくことを忘れないでください。
今、社会は、日々、私たちの想像をはるかに超える変化をし、私たちは、様々な困難に直面しています。おわりに、先日、ウクライナから避難する女性がインタビューに答えて語った言葉を紹介します。
「まさか、21世紀に戦争が起こるとは考えていなかった。突然、幸せな時間を失った。しかし、今は幸せな人生や人生の目標を考えるのではなく、今をどうしたら生き残ることができるか、それしか、考えられない。」……と話しました。
今、まさに「自分の国がなくなる」という危機に直面している彼女の言葉を、私たちはどう受け止め、私の幸せ、私たちの幸せを考え、進んでいったらいいのでしょうか。今、卒業する君たちが、これからの「先の見えない、変化の激しい世界」で羽ばたくために必要なのは、進むべき道を指し示してくれる「方位磁石」です。その方位磁石を手に入れるためには、常識にとらわれたり、多数意見に流されたりせず、「なぜ」という疑問を持ち、「問い」を立て、「考え続ける」ことだと思います。「思考というコンパス」を手に入れるために、これからも、ずっと、ずっと「学び」続けてくださいね。
それでは、卒業生の皆さん、いよいよ、新たなステージへの「旅立ち」です。「卒業 おめでとう」

第61回卒業証書授与式

3月9日（水）春の温かな日差しに包まれる気持ちの良い陽気の中、第61回卒業証書授与式を挙行了たしました。新型コロナウイルス感染対策のため、本年度も地域の方々のご列席は賜わることはできませんでしたが、278名の卒業生は、保護者、教職員に見守られ、立派に巣立っていきました。中学校の卒業式は、義務教育の修了でもあります。これからは自分自身が決めた道を自分の力で歩いていくこととなります。これから進んでいく未来に、多少の不安はあるかもしれませんが、しかし、卒業式で担任の先生に名前を呼ばれたときの堂々とした姿、合唱「大地讃頌」の素晴らしい歌声に、ひとりひとりの自信と決意を感じました。4月からはまた新しい出会いがあり、その中でさらに大きく成長していくことでしょう。中学校での3年間は一生のうちではほんの一瞬のことですが、どうか万騎が原中学校の卒業生であることをいつまでも大切にしていってほしいと思います。

「お別れの言葉」

厳しかった寒さも遠のき、次第に春の陽気を感じられる今日。私たち278名は、この万騎が原中学校を卒業します。振り返れば、万騎が原中学校で過ごした3年間は、長いようであっという間に過ぎていったように感じます。この3年間の思い返した時、頭に浮かんだのは「全力」ということでした。
3年前の春、期待と不安を胸に抱えて臨んだ入学式。あの時、緊張で全身が震えそうだったことも昨日のこの

ように感じます。また、初めてクラスの教室に入ったとき、周りを見渡すと、知っている人はほとんどいなく、うまくやっていけるのか、不安がたくさんありました。その時に、斜め前にいた人が、話しかけてくれて自分の不安が無くなっていきました。それをきっかけにクラスの人たちと打ち解け合うことができました。

その1か月後、私たちは、自然教室へ行きました。自然教室では、ドッジボールをしたり、カレーを作ったりしました。特にアスレチックのようなアクティビティをしたときに、クラスメイトにあだ名をつけ合うという事が印象に残っています。あだ名は、皆で考え、話し合い、心の底から笑って皆をよく知るきっかけとなりました。自然教室では、クラスで協力することが多く、とても仲が深まったと思います。また、初めての体育祭、桐花祭。皆で優勝を目指しました。その中でしゃかりきに何かをやり遂げることの大切さを知りました。

1年生が終わり、やがて私たちは、2年生へと進級しました。しかし、進級した実感はありませんでした。コロナウイルスです。3月から5月は学校はなく、6月も分散登校になり、新しいクラスメイトと会う時間は少なく、これからどうなるのかという不安が募りました。当たり前にあった学校。大幅に変わった生活スタイル。体育祭、桐花祭もなくなり、東京校外学習にも行けませんでした。学校に行くことの楽しさを改めて痛感させられました。けれども、起きてしまった現実、変えられません。できなかったことよりできたことを振り返りたいと思います。2年生の時は、体育祭の代わりにスポーツフェスティバルが何回かありました。1人ひとりが精一杯の力を出し、クラスで協力し、学年全体で切磋琢磨して、とても盛り上がりました。改めて当たり前だと思っていた学校と人とのつながりの温かみを再確認させられました。

そして、私たちは、最終学年である3年生へと進級しました。3年生になってもまだコロナ禍でしたが、体育祭、桐花祭も開催することができました。体育祭では、スローガンの「臥薪嘗胆」の通り、コロナ禍で大変なことがあっても、苦労を重ね、練習を重ね、目標に向かって全力でやることの大切さを感じました。桐花祭では、3年間の集大成という事もあり、練習時間が短い中でもどのクラスにも熱があり、強い団結が見えました。私のクラスの曲は「言葉にすれば」で一つ一つのパート同士のハーモニーが大事な曲で、難しい曲でした。2回目を歌える2クラスを目指し、昼には合唱の動画を見て、また、練習の時には、改善することを言葉にして伝え合い、本気で向き合いました。合唱コンクールの本番では、どのクラスも自分たちのすべての力を出し切った素晴らしい合唱でした。私のクラスは練習の成果を発揮し、2回目を歌うことができました。その喜びを感じることができたのも各クラスが合唱を高め合ってくれたからだと思います。

12月には、修学旅行に行きました。この修学旅行は、本当に楽しみで、実際に行けたときは、これほど嬉しいと感じた学年は今までなかったのではないかなと思うほどでした。1日目は、奈良に行きました。奈良では、東大寺の南大門、大仏に圧倒され、とても力強いものを感じました。しかも、奈良公園には、鹿がたくさんいて、近くで見ると体がゴツゴツとしていて、少し驚きました。2日目は、京都で自由行動でした。清水寺、金閣寺、伏見稲荷大社などに行き、京都の歴史、優美さを肌で感じました。3日目は、能を体験したり、座禅をしたりして、文化に触れることができました。

この3年間を振り返って、私から伝えたいことがあります。それは、「何事にも全力でやること、全力で楽しむこと」です。自分の楽しかったこと、嬉しかったこと、頑張ったことを思い出してみてください。その時は、いつも「全力であった」と思います。辛かった過去は、変わらないけれど、今は、変えられると思います。今が変わることで、結果がどうであれ、それが「良い思い出」となるはずです。そして、今日、中学校最後の「良い思い出」となる日、卒業の日を迎えました。清々しい気持ちでこの日を迎えられたのは、多くの人の支えがあったからです。その人たちへの思いを今、全力で伝えます。

教職員の皆様。今まで本当にありがとうございました。先生方からはいろいろなことを教わりました。勉強や生徒会、そして進路に悩んだ時、相談に乗ってくれました。時には、僕たちのことを熱い思いで叱ってくれました。お世話になりました。いつかあの子たちは私たちの教え子だと自慢できるような人になります。

最後に家族へ。普段照れくさくて言えていませんが、この場を借りて言いたいと思います。今日まで育ててくれて本当にありがとうございます。仕事や家事で忙しいのに、僕のことを誰よりも考えて支えてくれていることわかっているよ。これからもたくさん迷惑をかけると思うけど、よろしくお願いします。

最後になりますが、今日という日が皆さんの心にいつまでも残り続けることを願い、お別れの言葉とさせていただきます。

令和4年3月9日
卒業生代表

4月の予定をお知らせします

※感染状況等により変更になる場合があります。

4月			
日	曜	行事等	昼食
1	金		
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木	着任式・始業式・入学式	×
8	金	離・退任式 対面式	×
9	土		
10	日		
11	月	学級写真 1年生部活動オリエンテーション	○
12	火	身体計測	○
13	水		○
14	木	生徒集会	○
15	金	授業参観（5校時）・懇談会14:45 部活動全体説明会15:30	○
16	土		
17	日		
18	月	避難訓練	○
19	火	3年全国学力学習状況調査	○
20	水	心電図検査1年	○
21	木	耳鼻科検診1年と希望者 教育相談	○
22	金	教育相談	○
23	土		
24	日		
25	月	教育相談	○
26	火	市学力・学習状況調査	○
27	水	教育相談	○
28	木	教育活動説明会14:00	○
29	金		
30	土		

春季休業

5月の主な予定
 6日（金）修学旅行保護者説明会15:30
 19日（木）2年校外学習
 20日（金）1年自然体験学習
 22日（日）～24日（火）3年修学旅行
 6月1日（火）体育祭

○●○○○●○○○○●○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○●○○

学校カウンセラーによる相談

4月の相談日は

20日（水）・27日（水）

相談予約等は、本校職員または相談室直通電話（391-5891）まで。

○●○○○●○○○○●○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○○○○○●○○